

令和5年度 総合探究課における学校評価

令和6年2月28日
総合探究課 椎谷 真紀子

自己評価 3・・・優れている 2・・・適正 1・・・改善が必要

1. 年間活動計画と進捗表、実施内容の入力と提出について		評価	1
点検・評価項目の総括	①年間活動計画に、学年ごとの学習目標と3年間の到達目標の記載をし、教員と生徒がこれらの目標を共有しながら学習を進められるようにしたい。 ②学年ごとの進捗表の記入と提出については継続し、毎月末にハウスごとに課の先生が入力の確認、未入力には声掛けをして未入力が無いように心掛けたい。提出は行事等に合わせ、6月末、9月末、12月末、3月末の4回を予定したい。 ③年間指導計画や進捗表は、今年度同様 EXCEL を用いた形式で管理し、クラス担任だけではなく他の教員が閲覧・活用できるようにする。		

2. 「Inspire High」の導入について		評価	2
点検・評価項目の総括	④「Inspire High」を導入して良かった点は、 1. 生徒全員ではないにしろ、生徒の学力に関係なく、新たな学びの方法やスキルが体现でき、他者とコミュニケーションを取ることが苦手な生徒も、多種多様な人種、世代、職種、考え方の人たちを知り、同世代の人たちと本音を伝え合うことができた。 2. 教員からは、学習内容や教材準備をする手間や時間をかけずに、生徒が興味を持って学習できる教材であり、「クラス間格差」のない学習内容であった。 ⑤セッションの進行がワンパターンなため生徒が飽きてしまうとの声もあるが、興味のないセッションであっても、教員側からのヒントや例え、アピールやモーションなど、積極的なアプローチをとることも必要だと思う。 ⑥フィルタリングの解除が2・3年生の初回授業までにできず、ログインできないまま「Inspire High」本来の使い方ではない授業になってしまい、ご迷惑をおかけしました。その為、「ルーム作成をせず（生徒がログインしない状態）」に授業を終えてしまったクラスがあった。次年度はこのような準備不足が起きないようにしたい。 ⑦発表データ等の提出方法に手間が掛かるとのことですが、「Inspire High」は2024年4月に新サービス『プロジェクト』機能が誕生し、個人探究やテーマ探究で活用でき、「Inspire High」に学びのゴールとしても活用できるようになるとのことなので『総合探究』の主軸として継続利用したい。		

3. テーマ学習と発表について		評価	2
点検・評価項目の総括	⑧テーマ学習（調べ学習）は継続して行い、発表するまでをゴールとし、時間があれば他者のプレゼンを見る機会も設けたいので、次年度は年間計画を見直したい。		

4. 来年度に向けて		評価	2
点検・評価項目の総括	⑨次年度は、「表現トレーニング1」と「志望理由書の組み立て方」は購入せず、「Inspire High」を主軸として活用していくが、進路指導に対する具体的な取り組みについて不安が残る。「スタディサプリ」の活用や図書館の利用などを試みたい。		